

## 届けよう！ コロナ禍の大学生生活アンケート 集計結果報告

全国大学生生活協同組合連合会

この報告では、集計結果のほか、寄せられた声から代表的なもの、特徴的なものを紹介する。  
また、大学教員4人にいただいたコメントを掲載している。

このアンケート自体には、次のような声が寄せられた。

- 大学生の生活を守るためにも大学生の声を届けて欲しい。[4～6年/文科系/女性/1人暮らし/山口県]
- 苦勞していないようで学生は苦勞している。悩んでいても簡単に打ち明けられない場合もあるので、学生の声を匿名で拾う場は定期的に確保して欲しい。[4～6年/文科系/男性/自宅/東京都]
- 学生の声をたくさん聞いて欲しい！4回生なので分かりますが、最近の学生はやりたいことができないからこそ、とても真面目な子が多いです。その分、何に価値を求めているのかをお互い知る必要があると思います。[4～6年/文科系/女性/1人暮らし/京都府]

### <アンケート概要>

次の趣旨で全国の大学生へ呼びかけ、回答いただいた。

同趣旨のアンケートはコロナ禍長期化に伴い、今回が3回目となる。

- ・ 大学生の声や要望を集め、大学・国・社会へ届けます。
- ・ コロナで変わったこと、これから変わりそうなこと、あなたの生活と要望をお寄せください。

【調査方法】 Web 調査（回答協力を大学生協ホームページや SNS 拡散で呼びかけ）

【調査対象】 全国の大学生（学部生） ※生協のない大学含む

【調査期間】 2022年7月4日（月）～ 2022年7月24日（日）

【回答者数】 5225人

### <アンケート結果についての注意点>

- ・ アンケート実施がいわゆる「コロナ第7波」にさしかかる時期になった。感染急拡大直前頃の回答である。
- ・ 全国大学生協連で定期的に行っている学生生活実態調査のように無作為抽出による統計データではなく、回答者には学年、性別、地域、所属大学など偏りがあるため、必ずしも平均像を代表するものではない。
- ・ 匿名アンケートのため、学生以外の回答や複数回答、不適当な回答などの可能性は排除できない。

### <回答者属性>

- ・ 回答者数：5225人。
- ・ 性別：男性 1814人、女性 3279人、回答しない 132人
- ・ 学部系統：文科系 3277人、理工系 1474人、医歯薬系 474人
- ・ 住まい形態：自宅通学 2790人、一人暮らし 2435人（うち「コロナ影響で一時自宅だったが現在は一人暮らし」が63人）

・大学所在地・学年：下表の通り

大学所在地/学年	1年	2年	3年	4~6年	総計
北海道	66	36	20	14	136
青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	107	94	55	44	300
茨城・栃木・群馬・新潟・山梨・長野	122	75	31	21	249
埼玉・千葉・神奈川	45	33	28	25	131
東京	160	128	105	104	497
岐阜・静岡・愛知・三重	986	489	300	234	2009
富山・石川・福井	78	20	17	8	123
京都・滋賀・奈良	300	203	118	122	743
大阪・兵庫・和歌山	95	61	38	28	222
鳥取・島根・岡山・広島・山口・徳島・香川・愛媛・高知	294	143	109	66	612
福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	94	52	34	23	203
<b>総計</b>	<b>2347</b>	<b>1334</b>	<b>855</b>	<b>689</b>	<b>5225</b>

### (1) コロナ感染がかなり落ち着いてきましたが、良くなった、充実してきたと感じていることを何でも記入してください

- 対面になり、友人と呼べる人ができた。彼ら彼女らと気軽に遊びに行くことができようになったことで学校生活に充実さを感じる。[2年/文科系/女性/1人暮らし/東京都]
- ご飯が友達と食べられる。高校では一人一つの机で黙食徹底されていたので [1年/文科系/女性/1人暮らし/愛知県]
- 授業が対面授業になり、質問したいと思った時にすぐに先生方の研究室に行って、質問できること。実習が今までずっと学内だったので、やっと臨地実習に行けて勉強になったこと。友達と気軽に遠出したり、ご飯を食べたりできること。[3年/医歯薬系/女性/自宅/大阪府]
- 大学に毎日行くようになったこと。3年生にして初めて定期を購入し、初めて学食も利用した。友達との交流ができるようになり、遊びに行くこともできた。[3年/文科系/女性/自宅/埼玉県]
- 対面授業が多くなったと感じます。教授の顔も直に見れて、大学で授業を受けているという実感が湧きます。それと同時に、ついでに図書館へ行く、ついでに大学にある店に行く、というような余暇を楽しむようになったという事も充実感があり良いと思います。[2年/理工系/女性/1人暮らし/福岡県]
- コロナ禍が被った先輩方よりは、1年生から対面授業ができて、友達もたくさんできてキャンパスライフが充実していると感じます。[1年/文科系/女性/1人暮らし/京都府]
- コロナ自体はまだ落ち着いていないと思うが、この時の対応である対面と遠隔の半々での講義のお陰で、対面なら無茶だと思える時間割を組んでも時間の余裕が生まれ、学びたかった分野を広く知ることができた。また、遠隔受講者用の動画を復習用に公開してくれる先生も居て、授業ではすぐに飲み込めなかった部分を改めて確認することができ、内容の理解が深まった。対面が1日も無いのは実際に会わないとわからない部分もあるし、直接意見を聞く機会もないため流石に困るが、自分の体力的にもこのまま全面对面には戻らないで欲しい。履修を諦める科目が増えてしまう。[2年/文科系/女性/1人暮らし/埼玉県]
- 同級生の顔も名前も知らない状態だったが、顔を何人か覚えた。[2年/文科系/女性/自宅/愛知県]
- 対面授業が増えたことで、勉強に対する意欲が上がった。図書館の利用も気軽にできるようになり、読書の時間も増えた。サークル活動も活発になり、縦横の繋がりが増えた。[3年/文科系/女性/自宅/東京都]
- 段々この生活に慣れてきて、家にいたまま充実した毎日を過ごす事ができています。1年前からオンラインで友達とゲームをしたり喋ったりして毎日遊んだり、一緒に課題をしたりしており、孤独を感じることはむしろコロナ前より減りました。[4~6年/文科系/女性/自宅/滋賀県]

**(2) 逆に、まだ良くならない、新たに困ったと感じていることを何でも記入してください**

- 同級生の顔がわからなくて何かもどかしい感じがする。[1年/理工系/女性/1人暮らし/京都府]
- マスクの着用が当たり前なので、人の顔を覚えられないので困っています。[3年/文科系/女性/自宅/愛知県]
- 3年生にもなると新しい友達が作りにくい。[3年/文科系/女性/1人暮らし/北海道]
- お酒の席や食事は開きにくく、新入生や友達と仲が深まりにくいこと。[3年/文科系/男性/1人暮らし/青森県]
- 自分が所属する研究室では、これまで打ち上げや交流会がなく、ゼミの雰囲気が大人しいこともあって、2年目になっても打ち解けられていない。常にマスクを していたので、互いに顔もあまり知らず、今更知り合うことが恥ずかしく感じる。[4~6年/文科系/女性/1人暮らし/京都府]
- 友達との会食を二年以上断り続けてきたので、友情関係にヒビが入ってしまったのではないかと不安ですが、それをぶつける場所もないので無力感を感じています。[3年/文科系/女性/自宅/埼玉県]
- オンラインでよい授業や面接等も対面となってしまう、効率が悪くなっている。[4~6年/理工系/男性/1人暮らし/山梨県]
- 濃厚接触者などで授業に参加できない際、zoom でオンラインで授業を受けるが、大学の Wi-Fi が弱く、接触不良になること。[1年/医歯薬系/男性/自宅/三重県]
- 医学部キャンパスの学生は他キャンパスに比べて非常に制限が多いので、感染が酷かった時期に理工学部の学生が教授主催のゼミ飲みをやった話などを聞くと腑が煮え繰り返る思いをしていました(今はそれを通り越して、話を聞いても”無”の境地です)。実習があるので制限は仕方ないですが、あまりにも辛い思いが積み重なりすぎてしんどいです。研究室の先輩との交流までほとんどなく、進路選択の際に非常に悩みました。[4~6年/医歯薬系/女性/1人暮らし/宮城県]
- オンラインが当たり前すぎてもとの生活に戻れない [2年/文科系/女性/自宅/北海道]
- 気が緩んできたのか、通学中の電車内や人混みで、マスクも着けずに咳をしている方を見掛ける。[3年/理工系/男性/自宅/大阪府]
- 新型コロナウイルス感染症に慣れたといっても感染してしまうと「コロナにかかった」というレッテルを貼られてしまうような、「人間関係での不安」は未だに感じている。また、新型コロナウイルス感染症に慣れたことに起因して、周囲の友人が外食等のマスクなしで他人と接触する行為を行うようになってきているので、他人に迷惑がかかる可能性を(かつ迷惑がかかったときのその規模を)考えない行動には困っている。[2年/文科系/男性/1人暮らし/広島県]
- 体調が悪くなったとしても、大学の授業を休むことに手間がかかり(それぞれの教授に文章を送らなければならない。特に外国人の教授に英語の文章を考えることを、体調の悪い時にできる気がしない。)、多少体調が悪くても大学に行ってしまう。コロナのことを考えると休むべき時でも、このシステムでは休む気にならない。[1年/文科系/女性/1人暮らし/京都府]
- 2020年1回生の頃は全てオンライン授業であり、大学生活がなかったに等しい。はじめての状態に大学運営、教授、学生のすべてが手探り状態で物事を進めており、講義として成り立っているとはいえないものも多くあった。かつてよりしてみたいと思っていたバイトも2020年は募集がなく、(そのバイトの募集は1回生のみなので)、2、3回生になってからでは応募すら叶わなかった。せっかく入った大学での1年が潰れてしまったことが悲しく、3回生になった今でも、もし通常の状態の1年間があればあればできたのにこれができるのに、と落ち込むことがある。[3年/文科系/女性/1人暮らし/京都府]

### (3) 登校日数、対面授業とオンライン授業の割合の実際と希望

- 最近1週間の登校日数は昨年同時期アンケート結果と比べると大幅に回復している。

	1年		2年		3年		4~6年		総計	
	本年	昨年								
0日	0.9%	9.4%	0.7%	18.3%	2.1%	18.7%	11.2%	33.9%	2.4%	17.5%
1日	0.3%	14.6%	2.0%	15.8%	2.9%	21.4%	27.1%	26.1%	4.7%	18.1%
2日	2.3%	15.3%	4.1%	16.2%	8.3%	15.9%	15.2%	11.8%	5.5%	15.1%
3日	6.8%	16.3%	11.5%	15.5%	18.9%	14.9%	12.0%	8.7%	10.7%	14.6%
4日	19.9%	15.4%	26.8%	14.7%	23.6%	13.1%	9.4%	4.8%	20.9%	13.1%
5日	58.2%	23.7%	43.9%	15.3%	36.7%	13.4%	19.3%	10.2%	45.9%	17.2%
6日	8.4%	3.5%	7.8%	2.6%	4.8%	1.5%	3.0%	2.6%	6.9%	2.7%
7日	3.2%	1.9%	3.1%	1.5%	2.6%	1.2%	2.6%	1.7%	3.0%	1.6%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

- 地域別に見ると、首都圏（一都三県）と北関東が週5日が比較的少ない。

	北海道	青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	茨城・栃木・群馬・新潟・山梨・長野	東京	埼玉・千葉・神奈川	岐阜・静岡・愛知・三重	富山・石川・福井	京都・滋賀・奈良	大阪・兵庫・和歌山	鳥取・島根・岡山・広島・山口・徳島・香川・愛媛・高知	福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	総計
0日	2.2%	2.3%	2.0%	4.0%	8.4%	1.5%	0.8%	3.1%	2.3%	2.6%	1.0%	2.4%
1日	2.2%	3.3%	4.0%	9.7%	9.9%	3.0%	0.8%	8.5%	3.6%	3.9%	3.0%	4.7%
2日	8.8%	3.7%	11.6%	7.0%	6.9%	4.2%	2.4%	6.9%	4.1%	5.2%	4.9%	5.5%
3日	12.5%	5.7%	10.4%	13.9%	12.2%	9.7%	10.6%	10.2%	12.6%	13.4%	9.9%	10.7%
4日	18.4%	15.7%	33.3%	21.1%	22.9%	20.1%	19.5%	18.7%	21.6%	21.2%	27.6%	20.9%
5日	50.7%	54.3%	34.9%	34.4%	29.0%	52.1%	49.6%	41.5%	44.6%	43.0%	46.3%	45.9%
6日	3.7%	11.3%	1.6%	8.5%	6.1%	6.5%	12.2%	8.6%	7.7%	5.7%	3.9%	6.9%
7日	1.5%	3.7%	2.0%	1.4%	4.6%	2.8%	4.1%	2.6%	3.6%	4.9%	3.4%	3.0%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

- 対面授業とオンライン授業の実際と希望を聞いた。
  - ・実際の授業は、対面10割が29.5%と最多。大半は対面7割以上だ。
  - ・学生の希望は半々が21.3%と最多で、次に対面10割が19.2%と割れている。オンライン6割以上希望は合計すると24.5%で、全体の傾向は対面がオンラインより多い状態を望んでいるようだ。

	1年		2年		3年		4~6年		総計	
	実際	希望								
対面10：オンライン0	23.0%	19.2%	26.3%	13.0%	27.6%	16.7%	60.5%	34.0%	29.5%	19.2%
対面9：オンライン1	24.6%	7.8%	22.3%	5.2%	25.6%	6.0%	8.6%	4.2%	22.1%	6.4%
対面8：オンライン2	14.7%	12.1%	14.4%	10.1%	11.0%	11.9%	3.5%	7.4%	12.5%	10.9%
対面7：オンライン3	11.9%	13.5%	10.6%	10.6%	8.8%	10.9%	2.8%	5.8%	9.9%	11.3%
対面6：オンライン4	7.3%	6.9%	6.1%	7.5%	4.6%	6.2%	1.6%	2.3%	5.8%	6.4%
対面5：オンライン5	8.3%	19.8%	7.0%	23.1%	6.3%	23.3%	7.4%	20.6%	7.5%	21.3%
対面4：オンライン6	4.4%	4.5%	3.9%	4.6%	3.6%	2.5%	1.2%	2.3%	3.7%	3.9%
対面3：オンライン7	3.0%	4.9%	3.6%	6.5%	5.4%	5.4%	1.3%	4.2%	3.3%	5.3%
対面2：オンライン8	1.8%	3.9%	2.5%	5.5%	2.8%	6.2%	1.2%	4.5%	2.1%	4.8%
対面1：オンライン9	0.7%	2.0%	1.9%	3.7%	2.7%	3.2%	3.5%	3.6%	1.7%	2.8%
対面0：オンライン10	0.3%	5.4%	1.2%	10.0%	1.6%	7.8%	8.6%	11.0%	1.9%	7.7%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

### <大学の授業について困っていることや要望>

- 代表的な声をピックアップした。対面のよさを重視する声、オンラインのよさを重視する声、うまく組み合わせたいという要望が混在している。
- 対面とオンラインを選択できるようにしてほしいとの声は多数あった。
- 対面になって1限目がつらい、通学時間がきつい、感染が怖いなどの声も多い。
- また、グループワークやディスカッションなどをもっと増やしてほしいとの要望も目立った。

#### 【大学の設備や運営等の不具合に関すること】

- 大学内のWi-Fiの接続が弱く、すぐに接続が切れてしまうこと。[2年/理工系/男性/1人暮らし/茨城県]
- コンセントが使える教室が少ないので、いつも教室探しにつかれてしまう。話だけの先生の授業はオンラインでもいいかと正直思ってしまう。友達と会うようになってから、人間関係の難しさに直面して、気疲れしてしまう。[3年/文科系/女性/自宅/東京都]
- 対面の後にオンライン授業が続く場合が大変。学内で、オンライン授業を受けられる場所の確保が難しい。オンデマンドが良い。[3年/理工系/男性/1人暮らし/静岡県]
- 対面・オンラインのハイブリッド型で授業が提供されていることが多いのですが、オンラインの生徒は黒板の板書は見られないなど、対面とオンラインで受けられる授業の質が違うことが多いです。実質的には対面で通学せざるを得ない状況になっていて、オンライン開講する意味が乏しいと感じています。[4~6年/文科系/女性/自宅/神奈川県]
- 講義を担当する教員がオンラインの環境に慣れていないため、不具合などで無駄な時間を過ごすことも多かった。[4~6年/文科系/男性/1人暮らし/青森県]
- オンライン授業でオンデマンドの動画が予定コマ通りにアップされず、授業時間外に動画視聴することになること。[4~6年/医歯薬系/女性/自宅/青森県]
- レジューメが全て学務情報システムに公開される訳ではないこと。[1年/文科系/男性/1人暮らし/愛知県]
- オンラインと対面を隔週で行っており、オンラインの週だと対面週の半分以下しか授業時間がない。他大学は全対面がほとんどであるので、不公平感を大変感じる。[1年/文科系/女性/自宅/埼玉県]
- 大学は半数入れ替えが好きだけど、半数入れ替えだと結局授業のクオリティは低いから、それくらいならオンラインがいい。[4~6年/医歯薬系/女性/1人暮らし/宮城県]
- 対面だけの授業、オンラインだけの授業、週ごとに交互に行われる授業、ごちゃごちゃで混乱するしやる気が削がれる。やるなら徹底的に全部オンライン、やらないなら全部対面、と統一してほしい。[1年/理工系/男性/1人暮らし/愛知県]
- 対面かオンラインかがいつまでもはっきりせずぎりがぎりで伝えられる。そのせいで予定が立てにくい。[2年/文科系/女性/1人暮らし/愛媛県]
- オンライン授業なのか対面授業なのか履修登録時にわからない科目が多く、履修が組みづらいため、登録人数によって授業形態を決めるのでは無く、最初に決めて頂けたら非常に助かります。昨年オンラインで様々な授業ができていたため、大阪から2時間かけて電車に来ていたのもあって、コロナ感染を考えるとオンライン授業の方が有難いです。[2年/文科系/女性/自宅/大阪府]
- コロナで学校を休まなければいけなかった期間の授業を受けることができなくてとても困ったため、動画を残すなどして後からでも見れるようにしていただけると、良いなと思いました。[2年/医歯薬系/女性/1人暮らし/京都府]

**【モチベーション】**

- オンライン授業ではモチベーションが上がらない [1年/文科系/男性/自宅/茨城県]
- オンラインが多くてやる気が下がる。対面でのアクティブラーニング希望！ [1年/理工系/女性/1人暮らし/茨城県]

**【心と健康に関する不安と要望】**

- オンラインから急にほとんど対面になったため、心が追いついていない。 [2年/理工系/女性/1人暮らし/山形県]
- マスクをしながら授業を受けることがとてもきつい。 [2年/文科系/男性/1人暮らし/北海道]
- 急な体調不良が起きた時、課題ができなくなるのに対応してくれない。学校が学生のメンタルヘルスに気を使ってくれない。対面とオンラインのハイブリッド形式にしてほしい。教員の連携不足が気になる。 [2年/文科系/女性/1人暮らし/長野県]
- 最近マスクを外して授業を受ける人が多くなってきた。怖いからやめて欲しい。 [1年/文科系/女性/自宅/富山県]

**【つながりづくりへの不安と要望】**

- 学科の必修科目が全てオンラインなため、同じ学科の友達ができない。授業で困ってもなかなか協力できない。 [2年/文科系/男性/自宅/神奈川県]
- 対面授業が極端に少ないため、人と会わない日が多い。1人で家に居て気持ちが沈んで、5月6月は鬱になるんじゃないかと思っていた。 [1年/文科系/女性/1人暮らし/和歌山県]
- 遠隔の授業だと、同じ授業を履修する人を見つけるのが難しいため、1人での学びになりがちであること。遠隔だとしても、何らかの形で、誰かと学びを深められたらいいと思う。 [1年/文科系/女性/1人暮らし/福島県]
- グループディスカッションなど、人とコミュニケーション取る授業が少ないため、増やして欲しいです。 [2年/文科系/男性/自宅/高知県]
- マスクをしているので、三年めですが、顔が覚えられません。ゼミも会食もできず、一度もフリーで話したことがなく、人間関係が希薄で残念です。 [3年/文科系/女性/自宅/三重県]
- オンライン授業でグループワークになった時に最初に誰もしゃべってくれない。カメラもオンにしてくれないので喋りかけるが心が折れる。 [1年/文科系/女性/1人暮らし/徳島県]

**【対面とオンライン授業について】**

- 特に座学の科目はオンライン授業の併用をこれからも続けてほしい。コロナ以外でも体調が悪くなったりした場合に、後からキャッチアップできるようになっていたのは心強かった。 [4~6年/理工系/女性/自宅/千葉県]
- 対面で実施することが望ましい授業は対面で良いのですが、オンラインでも実施可能な授業はできるだけオンライン希望です。 [1年/文科系/女性/1人暮らし/愛知県]
- 全面对面になり、特に1限がある日の電車が通勤ラッシュと被りとても苦痛です。また、対面の授業なのにひたすらビデオを見ているだけの授業があったり、対面で授業を行っているメリットや意味を感じられなくて往復3時間かけて通学している意味を感じられない。オンデマンドの授業だと、自分のわからな

った部分などを何回も繰り返して授業動画を見ることができたため自分なりに勉強できたが、対面だとそれができない。[2年/文科系/女性/自宅/愛知県]

- オンラインの素晴らしさを体感してしまったため、なかなか対面ばかりの授業に慣れません。[3年/文科系/男性/1人暮らし/広島県]
- コロナの感染者数が増えてくると登校が不安になるため、オンラインからでも参加できるようにしてほしい。[4~6年/文科系/女性/自宅/東京都]
- オンライン授業の方が向いている授業もあったのに、強制的にすべて対面に戻し、授業形態を「改悪」したこと。オンライン授業はコロナ対策の一環として始まったものだが、授業のクオリティやパフォーマンスが対面授業のときよりも向上した科目があった。[3年/理工系/男性/自宅/埼玉県]
- 対面が多いがコロナがまた拡大しているのでオンライン授業のほうありがたい。マスクしてない人や熱があっても来る人もいるので怖い。[1年/文科系/男性/自宅/徳島県]
- 濃厚接触者になり、登校が20日間できなくなり、授業について行けなくなった [1年/医歯薬系/女性/自宅/愛知県]
- オンライン授業を学校で受けている人が多数いるので対面授業でいいと思う。[1年/理工系/男性/1人暮らし/広島県]
- 外国語学部のコミュニケーションの授業がオンデマンドで、話を聞くだけの授業が対面になっているので、逆にした方がいいと思います。所詮、授業以外で多くの友達と接近して話しているので、授業でも話したいと思います。[1年/文科系/女性/自宅/岐阜県]
- 高度なディスカッションやプレゼンテーションを要する専門科目のオンライン授業には無理があると思っている。[2年/文科系/男性/1人暮らし/広島県]
- オンライン授業で課題が多すぎる、授業の連絡や課題提出の仕方が教授によって違ってややこしい。学情システムあるなら学情システム使って欲しい。[2年/文科系/女性/1人暮らし/静岡県]
- 文科省は実態にそぐわない対面授業を推奨しているが、どこの大学でもハイブリッド化した授業ではオンラインが大半なことから、これからの大学は場所に囚われないハイブリッド授業の推進に力を入れていくべきである。[2年/医歯薬系/男性/自宅/愛知県]
- 対面授業だけボツンとどこかの時間帯にあると、その時間のためだけに大学に何時間もかけて行ったりすることがある。その授業もオンラインにできたら一番いいなと思います。[2年/文科系/女性/1人暮らし/愛知県]
- 1日の授業をオンラインか対面かどちらかにして欲しい。一限がオンラインでも二限が対面であれば結局一限から学校にいるから。[3年/文科系/女性/自宅/大分県]
- スケジュール上で機械的に対面授業やオンライン授業を設定するのではなく、授業内容を踏まえて形態を工夫してほしい。(オンラインでも理解を図れる場合にオンライン授業、対面形式でないとう理解が難しいものは対面授業にする等)。[3年/理工系/男性/1人暮らし/長崎県]
- 対面とオンラインが同じ日に開講されている。感染防止のためであるなら意味がないと感じる。[1年/文科系/女性/自宅/岐阜県]
- 1日の講義が全て学部固有の授業なのに、オンライン授業の前後に対面授業があること。あまり人が集まらないようにオンラインにしているはずなのに、大学でオンライン授業を受けているのではオンラインにする意味がない。[2年/理工系/女性/自宅/愛知県]
- コロナ禍において、オンライン授業の環境整備は学校側、生徒側にも整った。しかし、現在では原則対面

授業に戻り、オンラインはコロナに罹患したなどの非常時のみの利用だけ認められる場合がほとんどである。私は原則対面授業に賛成だが、非常時以外もオンラインでの参加が認められても良いと思う。せっかくオンライン授業が普及したので、コロナが終息に向かった後もオンライン形態に柔軟な姿勢であることは特段悪いことではない。授業形態も時代に合わせて柔軟になれば良いと思う。[2年/文科系/女性/1人暮らし/東京都]

- オンラインの授業と対面の授業の判断が先生に任されておりバラバラの為、オンラインにしても結局似た人々と別の授業で会わなければならなかったり、オンラインの次の授業が対面で行われて移動がとても大変だったりするので日によって変えたりなど工夫してほしい。[1年/文科系/女性/1人暮らし/長野県]
- オンラインと対面のハイブリットにするか、対面授業でもオンデマンド授業のように動画を残してもらえると事後学習に役立つと感じる。[2年/文科系/男性/自宅/長野県]
- オンライン形式の講義であるにも関わらず、録画を残さないこと。対面とオンデマンド両方の悪い点をとっている。[3年/理工系/男性/コロナ影響で一時自宅だったが現在は一人暮らし/宮城県]

#### (4) アルバイト収入

- アルバイト状況は昨年よりもやや改善はされているようだ。収入ゼロは昨年より減っている。
- とはいえ、コロナ影響で思うようにアルバイトできないという声もある。

この1か月のアルバイト収入はいくらですか	1年	2年	3年	4~6年	総計
0円(アルバイトをしていない)	44.1%	17.9%	18.2%	25.4%	30.7%
2万円未満	14.9%	15.4%	15.2%	18.0%	15.5%
2万円以上3万円未満	10.0%	14.2%	11.6%	10.7%	11.4%
3万円以上4万円未満	10.5%	14.0%	13.1%	9.4%	11.7%
4万円以上5万円未満	8.5%	12.3%	13.6%	9.0%	10.4%
5万円以上6万円未満	6.7%	13.9%	13.5%	12.8%	10.4%
7万円以上	5.3%	12.3%	14.9%	14.7%	9.9%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

アルバイト収入0円の昨年と本年	1年	2年	3年	4~6年	総計
昨年	56.1%	25.0%	23.7%	29.8%	37.0%
本年	44.1%	17.9%	18.2%	25.4%	30.7%
差	-12.0%	-7.1%	-5.4%	-4.4%	-6.3%

**(5) サークル・部活の所属、友人の数**

サークル・部活に所属していますか？						
	1年	2年	3年	4～6年	総計	
現在所属している	75.4%	67.9%	51.3%	41.7%	65.1%	
以前所属していたが今はやめている	1.4%	9.4%	14.5%	37.2%	10.3%	
現在所属していないが今後入るつもり	7.5%	2.2%	0.6%	0.1%	4.0%	
所属したことがない・今後も入らない	15.7%	20.5%	33.6%	21.0%	20.5%	
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

- 3年生の65.8%に所属歴がある。入学時はコロナ禍でサークルに入れなかった状況があったが、その後入った人もかなりいるということになる。
  - しかし、今後も入らない割合は、3年生は他学年に比べて非常に高い。
  - サークルについては、次のような声があった。
- 3年生になってようやく本格的にサークル活動ができた。[3年/文科系/女性/1人暮らし/福岡県]
  - 先輩たちがコロナ禍で大学生活を送っており、コロナ前の経験が乏しいので、部活やサークルで制限されていた活動内容が誰も分からない。[1年/文科系/女性/1人暮らし/広島県]
  - 大学に入ってから2年間やりたいことが出来なかったことの辛さを相談しても「みんな同じだから」の一言で済まされる。特にサークル活動は、入ってから2年間ほぼ活動できていない中で私たちの学年に代替わりし引き継ぎも不十分で、今の活動に支障が出ている。新入生同然の知識と経験でサークル運営を任されているのに、三回生はやる気がないとわれわれ私たちのせいにされるのが辛い。[3年/文科系/女性/自宅/京都府]

大学入学後にできた友だちは何人いますか？					
	1年	2年	3年	4～6年	総計
0人	2.1%	2.8%	4.8%	2.2%	2.7%
5人未満	17.3%	18.3%	22.1%	15.7%	18.1%
10人未満	29.3%	26.9%	29.2%	25.6%	28.2%
20人未満	31.8%	26.1%	23.6%	26.5%	28.3%
50人未満	15.5%	17.8%	14.3%	18.9%	16.4%
50人以上	4.0%	8.1%	6.0%	11.1%	6.3%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

- コロナ禍初めての2020年夏のアンケートでは1年生(現3年生)のゼロ人が約28%と衝撃的な数字だった。
- その頃よりも改善はしている様子だが、3年生の友人の数は他学年より少ない。

- 自由記述欄では、次のような趣旨の声が目立った。
  - ・3年になって初めて会って、日が浅くてまだ表面的なつきあいだ
  - ・いつもマスクで表情がわかりにくく打ち解けにくい
  - ・食事、飲み会は制限や遠慮があって交流機会が少ない

## (6) 学生生活は充実しているか

- 学生生活の充実度について、全般、勉学・授業、友人関係、サークル・部活についてそれぞれ聞いた。

### 学生生活（全般）は充実していますか？

	1年	2年	3年	4～6年	総計
充実している	33.7%	30.7%	23.4%	30.0%	30.8%
まあ充実している	54.4%	53.3%	52.7%	51.7%	53.5%
<b>充実している計</b>	<b>88.1%</b>	<b>84.0%</b>	<b>76.1%</b>	<b>81.7%</b>	<b>84.3%</b>
あまり充実していない	9.8%	13.0%	17.7%	13.2%	12.4%
充実していない	2.0%	3.0%	6.2%	5.1%	3.4%
<b>充実していない計</b>	<b>11.9%</b>	<b>16.0%</b>	<b>23.9%</b>	<b>18.3%</b>	<b>15.7%</b>
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

### 勉学・授業についてはどうですか？

	1年	2年	3年	4～6年	総計
充実している	22.7%	22.6%	21.5%	31.2%	23.6%
まあ充実している	59.7%	58.1%	56.6%	54.0%	58.0%
<b>充実している計</b>	<b>82.4%</b>	<b>80.7%</b>	<b>78.1%</b>	<b>85.2%</b>	<b>81.6%</b>
あまり充実していない	14.3%	15.7%	16.0%	10.9%	14.5%
充実していない	3.3%	3.6%	5.8%	3.9%	3.9%
<b>充実していない計</b>	<b>17.6%</b>	<b>19.3%</b>	<b>21.9%</b>	<b>14.8%</b>	<b>18.4%</b>
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

### 友人関係についてはどうですか？

	1年	2年	3年	4～6年	総計
充実している	37.9%	36.9%	26.7%	37.0%	35.7%
まあ充実している	45.3%	44.1%	45.3%	41.7%	44.5%
<b>充実している計</b>	<b>83.2%</b>	<b>81.0%</b>	<b>71.9%</b>	<b>78.7%</b>	<b>80.2%</b>
あまり充実していない	13.3%	13.1%	17.7%	14.2%	14.1%
充実していない	3.5%	5.9%	10.4%	7.1%	5.7%
<b>充実していない計</b>	<b>16.8%</b>	<b>19.0%</b>	<b>28.1%</b>	<b>21.3%</b>	<b>19.8%</b>
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

### サークル・部活についてはどうですか？ (サークル・部活に入っていない人を除く)

	1年	2年	3年	4～6年	総計
充実している	43.3%	41.6%	34.3%	35.3%	40.8%
まあ充実している	41.2%	36.3%	40.6%	39.5%	39.7%
<b>充実している計</b>	<b>84.5%</b>	<b>77.9%</b>	<b>74.9%</b>	<b>74.8%</b>	<b>80.4%</b>
あまり充実していない	11.8%	16.1%	16.3%	14.6%	13.8%
充実していない	3.7%	6.0%	8.8%	10.6%	5.7%
<b>充実していない計</b>	<b>15.5%</b>	<b>22.1%</b>	<b>25.1%</b>	<b>25.2%</b>	<b>19.6%</b>
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

- いわゆる「第7波」に差し掛かった時期のアンケートで、既に述べてきたように登校日数や対面授業割合、サークル所属など、コロナ禍前に近い状態に回復したのではと思われる状況であることを踏まえ、「充実している計」「充実していない計」を見ると、学年別の特徴が出ている。コロナ禍によって「失われた大学生活」の期間が影響していると言える。
- 1年生:比較的コロナ禍の影響が少ない。
- 2年生:1年生に比べると充実度が低い。
- 3年生:すべての面で充実度が最も低い。大学入学と同時にコロナ禍になり、3年になってようやく対面授業回復など大学生活らしい状態になったことが影響しているのだろう。
- 4～6年:3年生に次いで充実度が低い。
- 「勉学・授業」は「友人関係」「サークル・部活」他に比べると学年別差異が比較的小さい。

## (7) 食生活・生活リズム、睡眠時間、孤独感、メンタルヘルス

- 心身の健康状態を推し量る意図の設問。
- 学生生活の充実度の裏返しと言える結果で、すべての項目で3年生が最も悪い状態と言える。
- 孤独感を「ほとんど感じない」が全学年平均で25.5%のところ3年生は19.9%、メンタルヘルスに「不安はない」が全学年平均では26.2%のところ3年生は20.9%と顕著だ。

- 孤独感とメンタルヘルスはクロス集計すると相当に強い相関関係が見られた。

食生活・生活リズムについてあてはまるものを選んでください					
	1年	2年	3年	4～6年	総計
不安はない	24.8%	24.4%	21.8%	28.4%	24.7%
あまり不安はない	37.3%	33.1%	34.0%	32.5%	35.0%
やや不安	31.2%	34.3%	33.2%	30.2%	32.2%
かなり不安	6.8%	8.2%	11.0%	8.9%	8.1%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

睡眠時間についてあてはまるものを選んでください					
	1年	2年	3年	4～6年	総計
十分とれている	14.4%	16.0%	17.7%	29.9%	17.4%
まあまあとれている	39.1%	35.9%	36.3%	38.3%	37.7%
ときどき不眠がある	33.2%	32.0%	28.7%	21.9%	30.7%
しばしば不眠がある	13.3%	16.0%	17.4%	9.9%	14.2%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

孤独感についてあてはまるものを選んでください					
	1年	2年	3年	4～6年	総計
ほとんど感じない	28.2%	23.4%	19.9%	27.3%	25.5%
あまり感じない	31.7%	35.1%	33.2%	30.9%	32.7%
ときどき感じる	31.0%	30.7%	35.2%	31.6%	31.7%
しばしば感じる	9.1%	10.8%	11.7%	10.2%	10.1%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

メンタルヘルスについてあてはまるものを選んでください					
	1年	2年	3年	4～6年	総計
不安はない	29.2%	24.1%	20.9%	26.4%	26.2%
あまり不安はない	37.9%	38.3%	37.2%	31.6%	37.1%
やや不安	25.8%	29.8%	30.6%	31.2%	28.3%
かなり不安	7.1%	7.8%	11.2%	10.7%	8.4%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

孤独感とメンタルヘルス (クロス集計)		孤独感				総計
		ほとんど感じない	あまり感じない	ときどき感じる	しばしば感じる	
メンタル ヘルス	不安はない	67.1%	19.4%	7.4%	3.8%	26.2%
	あまり不安はない	24.2%	58.3%	34.6%	8.7%	37.1%
	やや不安	7.4%	19.9%	50.1%	40.0%	28.3%
	かなり不安	1.3%	2.5%	7.9%	47.5%	8.4%
総計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

### <メンタルヘルスにかかわる声>

- アンケートでは「死にたい、消えたい、自殺したい」や、うつなど心の不調を訴える声が10件以上あった。私たちは、このような表現で回答せざるをえなくなるほど、生きづらさを切実に感じている学生が確かに存在するというを共有する必要がある。
- 消えたい。[1年/理工系/回答しない/1人暮らし]
- コロナ禍により、精神疾患が悪化し、未だに体調が非常に悪い状態である。日常生活を送る上でも、一人

でできることが非常に少なく、家族からの援助が常に必要な状態で、家族にも迷惑をかけていると考え、困っている。[4～6年/文科系/男性/自宅]

- 1限が辛い、心理カウンセラーとお話したい。[2年/理工系/女性/1人暮らし]
- 死にたいのに将来のことなんて考えられない。大学で学びたいことや卒論研究が就活茶番に邪魔される。[4～6年/文科系/回答しない/自宅]

## (8) 就職活動・インターンシップ

- これから就職活動を迎える3年生の就職活動への不安は強い。

- 自由記述では、次のような声が多い。

・何をしたいかわからない

・周りがどう進めているかわからず不安

・先輩経験者からの情報を入手する機会が少なくて不安

・いわゆるガクチカがコロナ禍で経験できなかった

インターンシップについては、4～6年はオンライン形式での参加が多かった。3年は対面で参加予定が多く、企業側も対面形式を増やしていることが伺える。

就職活動に不安はありますか？	1年	2年	3年	4～6年	総計
不安はない	12.7%	7.4%	4.3%	34.3%	12.8%
あまり不安はない	21.9%	14.8%	9.2%	18.1%	17.5%
やや不安	42.9%	41.0%	36.4%	24.7%	38.9%
かなり不安	22.5%	36.8%	50.1%	22.9%	30.7%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

インターンシップ	※回答者数に対する割合（複数回答のため合計は100%にならない）				
	1年	2年	3年	4～6年	総計
オンライン形式で参加した	1.1%	3.5%	20.2%	51.8%	11.5%
オンライン形式で参加予定	2.0%	4.9%	28.7%	3.5%	7.3%
対面形式で参加した	1.2%	2.8%	9.6%	31.8%	7.0%
対面形式で参加予定	4.4%	8.7%	33.1%	3.0%	10.0%
参加していない・予定はない	52.0%	52.8%	28.1%	32.2%	45.7%
わからない・未定	49.4%	39.4%	20.4%	6.7%	36.5%
回答者数	2347	1334	855	689	5225

### <就職活動での不安や困りごと>

- 集団で成し遂げたことがなく、エントリーシートが書けない。[3年/文科系/男性/自宅/東京都]
- コロナで部活やアルバイトをほとんどできていないので、いわゆる「ガクチカ」と呼ばれるようなことを自分は学生生活でやってこれたのか分からない。[3年/医歯薬系/男性/1人暮らし/岐阜県]
- 空白の時間が多すぎたから、書くことがあまり無い。[3年/文科系/女性/自宅/東京都]
- ガクチカについて聞かれても答えられる自信がない。周りの人が就活に向けてどんなことをしているのが全く分からないので、自分だけ置いて行かれてるのではないかと不安。[3年/文科系/女性/自宅/兵庫県]
- 学務が不親切であるため、キャリアセンターの利用もためらってしまう。実際に、キャリアセンターは、利用しづらい雰囲気があり、職員にも声を掛けにくい。[4～6年/理工系/男性/1人暮らし/新潟県]
- 大学内でのグループワークの経験が浅く、就活で焦りが生じないか不安である。[3年/文科系/男性/自宅/静岡県]

- 具体的に取るべき行動が分からない、企業の探し方・絞り方が分からない、コミュニケーション能力に自信がないためインターンシップや面接が怖い、自分の長所が分からない、ガクチカが分からない。[3年/文科系/女性/自宅/東京都]
- 友達もできず、先輩などもないため、就職活動状況などが分からない。いわゆるガクチカというものが全く見つからない。[2年/文科系/男性/自宅/東京都]
- 知り合いがおらず、全体の雰囲気がわからない。励ましあえないので、精神が不安。大学入学で環境がかなり変わっただけでなく、その後のコロナによる大きな変化によってこれまでと同じように動くことができない部分が多いので、これまでは問題にならなかったことがたくさん悩みの種・壁を感じるようになっており、今の状態に就活という大きな変化が加わっていくのがきつい。[3年/文科系/回答しない/自宅/東京都]
- 非対面の活動が中心であり、他の就活生の様子がわかりにくいため孤独感を感じる。また、最近になって対面面接が増えてきたが、これまでオンライン面接だったので対面面接の練習不足が不安。[4~6年/文科系/女性/自宅/京都府]
- 現段階で何をすべきか、また、どのタイミングで何をすべきかなど何もわからない状況。それに加えて、友人と授業が被らず、なかなか会話の時間が取れないので、みんなが就職に向けてどんなことをしている状況なのかわからない。だから私が遅れているのかすらわからず不安。[3年/文科系/女性/自宅/愛知県]
- 後輩の学生を見ていると「就活の仕方がわからない/情報が入ってこない」という学生がいます。特に3年生は上級生とのつながりが希薄で困っているようです。大学の就職支援センター等の情報宣伝が行き届いていないことも要因だと思います。[4~6年/文科系/男性/1人暮らし/沖縄県]
- 同世代の友達がほとんどできないので、学内や仲間内での情報交換ができず、一人で取り組んでいる気持ちになることが多々あり、不安です。[3年/文科系/女性/自宅/埼玉県]
- 就活に没頭しすぎず、1.2年次に楽しみきれなかった大学生活も同時に楽しみたい。[3年/文科系/女性/自宅/大阪府]
- 1回生なので、学業で手一杯で就活について考えたり、行動する余裕が少ない。勉強するために大学に行っているのか、就職するために大学に行っているのか分からなくなる。[1年/文科系/女性/自宅/大阪府]

#### <就職活動でどのような情報やサポートを希望するか>

- ただただ相談に乗ってほしい。[3年/文科系/女性/自宅/三重県]
- 何から始めたらいいいのか、同じような状況にあった先輩の声を聞きたい。[2年/文科系/女性/自宅/愛知県]
- 所属大学、所属学部の先輩の就職活動状況や、行っている、おすすめの取り組み [2年/文科系/男性/自宅/東京都]
- 就活のエントリーシートやインターンシップなどの始め方を尋ねることのハードルが高いように感じてしまうため、軽い気持ちで質問やアドバイスを受けられること。[3年/理工系/男性/自宅/埼玉県]
- 就職活動で同じような状況にある仲間が欲しい。就活に成功した先輩の知り合いが欲しい。[3年/文科系/女性/自宅/東京都]
- 自己分析や企業研究をみんなでやる機会(自分1人ではなかなかできないので…) [3年/理工系/男性/1人暮らし/岐阜県]

### (9) 残りの大学生生活でやりたいことは？

- 失われた2年をなるだけ取り戻す。[4~6年/医歯薬系/女性/1人暮らし/宮城県]
- 留学。少しでも興味を持ったことに挑戦すること。自分の可能性を広げること [2年/文科系/女性/自宅/愛知県]
- 留学をしたい。サークルにも入ることが可能であればしたい。本をたくさん読んで、様々な人と話して、勉強をたくさんしたい。[2年/文科系/女性/1人暮らし/東京都]
- 興味のあることに積極的に挑戦したい。具体的には、歌舞伎などの伝統芸能に触れたり、ビブリオバトルに参加したりしてみたい。[1年/文科系/女性/自宅/愛知県]
- 青春がしたい。[4~6年/文科系/女性/自宅/新潟県]
- いっぱい遊びたいです。旅行に行きたいし、友達とご飯を食べに行きたいし、遊園地に行きたいし、推しのコンサートに行きたいし、カフェ巡りをしたいし、いっぱい話したいし、思い出を作りたいです。そして、時々何も考えずのんびり寝る時間を作りたいです。社会人になったら出来ないような、自分に甘々な生活を過ごしてみたいです。[3年/文科系/女性/自宅/奈良県]
- 旅行に行く。ガクチカになるようなボランティア活動やゼミの活動をする。[3年/文科系/女性/自宅/静岡県]
- 1・2回生のときは、コロナウイルスの影響であまり遊ぶことが出来なかったため、大学生活を充実させるため、旅行や遊びに行ったりしたい。しかし、3回生になり就職活動をしなければならず、遊びたいのに、遊んでいいの不安になる。[3年/文科系/女性/1人暮らし/大阪府]
- もっと多くの人と交流したい。ボランティア活動やバイトなどを通して、大学生のうちには出来ない経験を積み、自身の視野をもっと広げたい。日本全国、できれば、海外にも行って、多様な文化に触れたり、新たなものに出会う機会をたくさんつくりたい。[3年/文科系/女性/1人暮らし/熊本県]
- 留学や海外旅行について聞いた。
  - ・3年生の海外願望が非常に強い。
  - ・逆に「無理と思う」も3年生が多い。
  - ・コロナ禍で機会を奪われたり、断念したりが多いことの反映だろう。

卒業までに海外へ行きたいと思いませんか？	回答者数に対する割合（複数回答のため合計は100%にならない）				
	1年	2年	3年	4~6年	総計
留学に行きたい	27.2%	21.2%	33.1%	13.9%	24.9%
語学研修に行きたい	15.6%	13.2%	20.6%	9.4%	15.0%
観光に行きたい	47.3%	49.9%	77.9%	51.5%	53.6%
行きたいが無理と思う	23.7%	28.3%	44.2%	35.6%	29.8%
行きたいと思わない	20.1%	23.9%	37.3%	22.9%	24.2%
わからない	9.2%	6.3%	9.8%	4.4%	7.9%
回答者数	2347	1334	855	689	5225

- 選考に選ばれるかどうか分からないが、交換留学がしたい。未来の学生のためにも、交換留学の枠を増やしてほしい。[2年/文科系/男性/1人暮らし/愛知県]
- (残りの大学生生活でやりたいこと) 留学。少しでも興味を持ったことに挑戦すること。自分の可能性を広げること。コロナ禍での留学に関して、大学を通してする交換留学等の制限を緩めて欲しい。[2年/文科系/女性/自宅/愛知県]

- コロナや就活で阻まれた留学に行きたかった。大学祭を対面でしたかった。友達とカラオケやディズニーに集団で行きたかった。恋愛もしたかった。サークルや部活に入って全力を出したかった。[3年/文科系/女性/自宅/東京都]
- 語学研修に参加したくて昨年申し込んだが、コロナで流れ、今年も行うと通知が来たが学年的に参加できない [3年/文科系/女性/コロナ影響で一時自宅だったが現在は一人暮らし/福岡県]

### (10) 大学や社会・国への要望

- 奨学金について、借金をしないと大学に通えない環境を変えて欲しい。[1年/文科系/女性/1人暮らし/茨城県]
- 2年生になり全面对面になり電車がいつも満員の状態で乗ることが多いのですが、男の人から痴漢のようなことをされることが多々あるのがとても苦痛です。痴漢とまで言わなくても、2人席に座っているときに体を押し付けられたり、携帯をのぞき込まれたり、明らかに故意でやっていることがわかります。地下鉄だけでなく常にも女性専用車両を設けてほしいです。学校まで片道1時間半で乗っている時間が長い分ストレスに感じ気持ち悪くなってしまったり頭痛が生じます。私のように言っている人は周りにもたくさんいるので、一つの意見としてお聞きしていただけると嬉しいです。[2年/文科系/女性/自宅/愛知県]
- 大学生活が2年間ほぼなかった(授業とかは受けれたが)人達にガクチカを強要しないで欲しい。実際に現在就活をしていて、ガクチカや自己PRの内容がほとんど1年次(まだコロナがなかった時期)の内容になってしまっている。1年生のたった1年で面接など全てを評価されている気がして、人によってはかなり不利になってる人もいるのではないかと感じる。面接で「今までどうしてきた?」「大学生活で学んだことは?」など過去を掘り下げる質問も大事である。しかし、コロナ禍に学生だった人にはほとんど活動が制限され続けてきたため、未来に向けた質問をベースにして欲しい。[4~6年/文科系/女性/1人暮らし/福岡県]
- 同世代の人たちとコミュニケーションを取る機会が欲しい。新入生はガイダンスがあったり新歓があったりとイベントが開催できているが、1年でコロナに直面した3年生はイベントが何もないまま交流する機会がなく、見放されている感覚がある。[3年/文科系/女性/1人暮らし/愛媛県]
- 困窮する大学生への給付金支給は非常に助けられました。ありがとうございます。奨学金に関して、大学の一部の給付型奨学金は年齢制限が設けられてある。私は現在22歳のため、年齢以外の条件を満たしていても受けられなかった。年齢ではなく学業成績に重きを置いた給付型奨学金を増やしていただければ、さらに学問に励める。また困窮する大学生への給付金が再びあれば、アルバイトに追われることなく、さらに勉学に集中できる。検討していただければと思います。[2年/文科系/女性/1人暮らし/東京都]
- 私の友達で親が病気になり、経済的な理由で大学を辞めなければならない人がいました。また、アルバイトで自分の生活費を稼がなければならなくて、課題やサークルの時間が削られたり、体調を崩してしまった人もいます。直接私に起きたことではないですが、自分ごとのように辛くて何か自分にできることはないかなと悩みました。こうした経済的理由で大学生活を安心しておくれられない人に、手を差し伸べてあげてほしいです。情報提供をもっと盛大にして誰もが知っていて、気軽に相談しやすいようにして欲しいです。  
[2年/理工系/女性/1人暮らし/静岡県]
- 大学
  - ・ 学費を安くしてほしい。もしくは給付金を。2020年に入った生徒は大学生活の半分以上をオンライン

で過ごした。なのになぜ学費が例年の生徒と変わらないのか。弊大学のこのような要望への返答は「未来の学生への投資」だった。未来の学生への投資？それは過去の学生達からすれば私達だって未来の学生に当てはまるだろう。その未来の学生である私達にお金を使えていないじゃないか。5万円の給付という返還こそあったものの、年間数十万を納めている私達に対して5万円？ふざけているのか、と失望した。でも何もくれない大学よりはマシだと思った。すぐにオンラインへ適応したのも良い部分だとは思う。だがそれはそれとしてだ。

またオンライン授業によって例年ではあり得ないほどの課題を出され、自分の時間を保てなくなった学生が多くいた。それに対して弊大学の学長は綺麗事を言って済ましたことを今でも覚えている。

そこの認識も改めて頂きたい。努力だのなんだので片付けられるような精神状態じゃなかった。右も左も分からなかった。精神薬に頼った。そんな生徒がいたことを知ってほしい。

#### 社会・国

- ・ ブラック企業が多すぎる。もっと簡単に告発できるような仕組み、社会になってほしい。
- ・ 法整備をもっと、ちゃんとしてほしい。出した提案を実行する力を身につけてほしい。
- ・ 政治家に平民体験でもさせたらどうだかと思う。金持ちには分からないだろう。日々の出費にどれだけ私達が敏感になっているか。接客業などやってみるとそれがわかりやすいのではないだろうか。
- ・ 死にたい、生きたくない私を助けてください。

[3年/文科系/女性/自宅/東京都]

- 後輩と一緒に対面でゼミに参加するようになって、対面での講義経験がある私たちと比べると、後輩は対面での話し合いや発表にまだ慣れていないのだと感じました。講義の前後に友だちと話したりすることもなく、ただとにかく講義にのみ参加しに来ているように見受けられて、とても辛そうでした。そのまま今後就職活動に突入していくのは精神面でも不安が多いと思うので、なんとかサポートしてあげてほしいです。[4~6年/文科系/女性/自宅/東京都]
- コロナが始まった年に大学に入学しましたが、私の大学は1年の後期から対面を取り入れてくださって、3年になった今は全ての授業が対面になり、だいぶ友達も増えて、仲も深まり、知り合いの先輩もできて、まだ対面授業中心ではない大学に比べると、大学生らしい生活ができています。なので、大学ごとの差が減るといいなと思います。[3年/理工系/女性/自宅/愛知県]
- コロナ対応は各大学の判断ではなく全国一律にしてほしい。大人数でパーティーがしたいなんてことは言わないので、せめて仲のいい人とカラオケに行ったり県外に遊びに行ったりしたい。[2年/文科系/女性/1人暮らし/大分県]
- マスクしなくていい、会食を制限しなくていいなど規則を緩めるのはいいのですが、本当に緩めることができる判断ができた上で緩めてもらった方がいいのではないかと思います。今までは規則が弱まったら感染者数が増える、の繰り返しのような気がしています。中途半端にできることとできないことが混在していて、もどかしい思いをすることが何度もありました。コロナ禍で学生生活を終えることは、やり残したことがたくさんあって寂しいです。[4~6年/文科系/女性/1人暮らし/大分県]
- コロナ禍により体調を悪化させ、休学も行った。休学可能期間がもうないため、もう休学ができない状態であるが、コロナ禍に対する配慮として、休学可能期間を延ばしていただき、再度休学を行い、体調を整えられるようにしていただきたい。[4~6年/文科系/男性/自宅/長野県]
- マスク外していいという割に、ニュースの中継などでキャスターがマスクをしており矛盾を感じます。耳が聞こえないひとは口パクから文字を読み取るのに、マスクする必要は本当にあるのでしょうか。この間

参議院選挙がありました。経済や憲法改正(外交)に視点を置いた選挙だったと思いますが、我々大学生的には、大学までの学費・医療の無償化、妊娠出産ケアなど私たち世代、私たちの子供世代にもっと焦点を当ててほしいです。経済のことはまだしも、憲法改正は残り数十年で亡くなる老人たちが残りの人生を安心して暮らすためにあるようにしか見えません。私たちの大学生活はコロナと過ごした4年間でした。お金がなく中退した学生も周りにいました。世の中には両親からの虐待で児童養護施設に入ってる子供も多くいます。その子たちも大学に通えるようになれば、立派な人材が育ち日本の経済を豊かにしてくれるのではないのでしょうか。1 大学生の意見ではありますが、目を通していただくとありがたいです  
[4~6年/文科系/女性/自宅/大阪府]

- コロナ前の大学の講義は一方的に講師の話聞くだけ(講師もスライドを読むだけだったり、話し方が下手でつまらなかったり、早口だったり)、かつ学生の私語も放置で、学費を支払ってくれる親に申し訳ない気持ちでいっぱいでした。しかしコロナでオンラインに移行し、自分のペースで講義を受けられる(聞き逃したり書き逃した部分や説明が意味不明な箇所を何度も聞き直せるなど)ようになり、勉強が楽しくなり成績も向上しました。[4~6年/文科系/女性/自宅/兵庫県]
- コミュニケーション能力をそんなに神格化しないでほしい。[1年/文科系/男性/1人暮らし/岡山県]
- 大学4年でもバイトとして雇って欲しい。前のアルバイトが未だに時短営業中でシフトに入れず、辞めた(別のバイトを勧められ辞めざるを得なかった。昨年10月からずっとワンオペだった)。新たに始めたバイトは前のバイト先よりは稼げるが、それでも生活していくのにギリギリのため常に精神的にストレスがかかっている。2020年、地元に戻ってオンライン授業を受けたため、2021年1月から3月まで大学のあある県でバイトの面接を受けたが10受けて10全て落ちた。コロナと「これから大学3年」ということが原因のようだった。現在就活が終わった大学4年だが、4年生だとさらに雇って貰えないだろうと思う。今は新たに始めた単発の登録制シーズンバイトに入っているが、時給がそれほど高くない上に入りたい日もシフトを希望する人が多くて希望通りにバイトに入れていない。またシーズンが終わってしまったらバイトがゼロになってしまうため不安である。  
コロナ禍で既に親から100万円以上の仕送りをもらっているが、本来コロナがなければ全て自分で生活費を稼ぐ予定だったため親に申し訳ない気持ちで一杯である。数ヶ月前までは食費を減らすため1日1~2食で凌いでいたが、元々疾患持ちで定期的に医療費がかかる上に食費を減らしたせいで栄養が足りず「貧血」だと診断されてしまった。バイトを増やしてせめて最低限の栄養はとりたいなと思ってしまう。大学4年で残り半年だけでも雇って欲しい。[4~6年/文科系/女性/1人暮らし/宮城県]
- 学費で困っている学生は多いので、高等教育の無償化や授業料の引き下げは必要だと感じます。[4~6年/文科系/男性/1人暮らし/沖縄県]
- 私たちはコロナ禍によって交流の機会を失ってしまった世代であるため、さらに大学生同士の交流を増やせるような行事を大学で企画してほしい、と考えます。私の同期は、交流もないまま社会人になる人も多く、新社会人向けの交流、親睦イベントのようなものも社会で企画してほしい、と考えます。[4~6年/理工系/男性/1人暮らし/岐阜県]

## 【有識者コメント】

<b>オンライン授業の評価の難しさ、および今回調査が示す「二つの視点」</b>
---

米山 高生

東京経済大学経営学部教授

専門分野：保険とリスクマネジメント、経営史

**オンライン授業を評価することの難しさ**

対面講義の復活に対する歓迎の声はあるものの、オンラインの方がよい講義まで対面になってしまったという意見があった。大学にとって望ましい授業形態を今後考えていくために、学生アンケートを利用する際に、いくつか注意しておかなければならないことがあると思った。

- ① 対面講義の復活を歓迎する声の裏側に、対面形式の講義自体への歓迎とともに、キャンパス活動の復活がふくまれていること。
- ② 反対に、「オンラインの方が良かった講義」という学生の評価の中に、オンラインの方が「ラクチン」だったという、学生側のある種のモラルハザードがなかったかということ。
- ③ さらにオンラインといっても大学および教員によって様々な方法が混在していたことについて認識する必要があること。(ただし2年余りの経験で、教員のスキルは各段に向上し、また一定の均質化がみられることは確か。この点で、手前味噌ながら、多くの大学教員は柔軟で優秀なところがある。)

したがって、「対面 vs オンライン」という二項対立図式を前提にして、今回のアンケートを単純に解釈することはできないと思う。たとえば、学生の意見にもとづいて、対面講義をベースに評判のよいオンライン授業を組み合わせるなどという安易な解決方法の提案はよくないと思う。授業形態の変更の出発点には、大学(あるいは学部)がどのような内容の講義をどのようにして学生に提供するのかというところから出発するのが筋であり、その際に、大学教育におけるオンライン講義の活用の方向性について、教育側の実証研究と教員と学生による検証が必要だと思う。正論すぎるかもしれないが、学生が「通学が嫌だから」または「ラクチンだから」オンラインが良いという理由で、また教員が「手が抜けるから」オンラインが良いということで、オンライン講義が普及するのはよくない。オンライン講義の効果を考えた上で普及するという道筋が必要だと思う。

**今回調査が示す「二つの視点」**

学生生活に影響を与える要素として、学年を問わず一律に影響する要因と学年に特殊な要因がある。今回のアンケートの結果のうち、3年生の回答(友人数、充実度、孤独感など)を見ると、1年生時の全面オンライン授業の「後遺症」がみられる。他方において就職に関する意識も他の学年と顕著な違いがみられるが、これについては現3年生だけに見られる特殊性ではなく、就職が迫った学年という要因が回答に反映しているのではないだろうか。

今年度の調査から、私たちは次の二つの視点をもつことが大事だと感じた。ひとつは、学年を問わず一律に影響する要因から生じる学生の悩みを理解すること。このような悩みは、今年度にだけに生まれるようなものではないが、経済社会状況の変化に応じて変化していくものであるので、私たちはこれまで通り定点観察を続ける必要がある。もうひとつは、コロナ感染症対策=全面的なオンライン授業の実施によって生じた、学生生活の歪みに対する認識である。これは、予想通り、3年生に集中して明確に表れている。これについては何らかの特別な対策が必要だろう。

この二つの視点を持つことの必要性を、今回の学生アンケートから、あらためて教えられた。

## コロナ禍の学生は就職活動にどのような不安を感じているのか？

松坂 暢浩

山形大学学術研究院准教授・小白川キャンパスキャリアサポートセンター長

専門分野：キャリア教育論、人材育成論

コロナ禍の就職活動に対して学生が不安を感じている点として大きく2つの傾向が見られた。

1つ目は、「いつから何を始めたらよいか」や「やりたいことが見つからない」などの就職活動における漠然とした不安を抱えている点である。これらは、コロナ禍前からも挙げられている不安である。しかし、コロナ禍で先輩や友人などのつながりが作れなかったことで、相談する機会やそこから得られる情報が極端に少なくなったこともあり、より不安が強くなっているものと考えられる。

2つ目は、エントリーシートや面接で問われる「ガクチカ（学生時代に力を入れたこと）」についての不安である。コロナ禍で活動が制限されていたこともあり、「ガクチカについて聞かれても答えられる自信がない」や「(学業以外で)ほとんど活動ができなかったのでガクチカがない」などの声が見られた。一方で採用側は、ガクチカではなくコロナ禍で気づいたことや工夫したことについて様々な角度から質問するなどの工夫をしている。しかし、学生にそのような情報は届いていない状況が伺える。

## コロナ禍に直撃された大学生生活をどう考えますか

喜多 一

京都大学国際高等教育院教授

専門分野：システム工学、情報教育、教育の情報化

新型コロナウイルス感染症のパンデミックでは多くの方々が命を落とされたり、医療機関など過酷な状況で勤務されたりと、年齢や職業によってさまざまな方にいろいろな影響が生じています。ただ授業のオンライン実施、留学機会の喪失、サークル活動の制限、アルバイト機会の減少、就職活動の様変わりなど生活全般に影響が及んだという点では大学生は社会の中でかなり特異な存在なのかもしれません。その中で授業のオンライン実施については、肯定的な意見もあるようです。

人と人が直接会って活動することの意義は実感されつつも、まだ十分に整理がついていないかとも思いますし、オンラインでの活動が対面での活動の単なる代替と考えるのもその可能性を考える上では問題です。この調査結果をどう活かすかが問われます。

## 声を届けてくれてありがとう

鈴木 健一

名古屋大学 学生相談センター長・教授

専門分野：臨床心理学、学生相談

全国の学生たちが率直な思いを届けてくれたことを、なによりうれしく感じました。

学生たちの声はポジティブなものもあればネガティブなものもありました。これはコロナ禍における学生たちの体験過程が実に多様であることを示しているといえます。

一般に、アンケートに回答する時は聞き手を想定するものです。このアンケートでは学生のみなさんの声を受けとめる私たちが聞き手です。

学生のみなさんには引き続き、声を発し続けてもらいたいと思います。

そして学生たちを見守る私たちは、声をあげてくれた学生たちに加えて、今回は声をあげていないけれど、同じように前向きな、あるいは、後ろを向いている学生たちの存在も想像すること、そして、学生たちとのつながりを模索することが重要であるといえます。